



令和5年度 日向市立坪谷小学校 学校関係者評価書 No.1

学校経営ビジョン

「地域を愛し、地域が誇る児童の育成」を目指して

~3つの「あ」を大切に【あいさつ・ありがとう・あたりまえ】~

重点目標	達成目標	4段階評価の平均				評価指標(アンケートの到達目標)	評価指標達成状況及び次年度の改善策等	達成度評価 (自己評価)	学校運営協議会委員による評価	
		児童 自己評価	保護者 自己評価	職員 自己評価	全体平均				期待以上 A	期待どおり B
個に応じた指導力の向上	基礎基本の確実な定着と学ぶ意欲の向上	3.8	3.0	3.0	3.3	○アンケート全体平均3.2以上 ○単元末テストで学年平均80点以上	アンケート全体平均3.2を上回った。授業の中で振り返りと習熟の時間をとり、学習内容の定着度の見届けと把握を行うことで、基礎基本の確実な定着を図る。また、児童の興味・関心を引きくような導入や、問い合わせをもたせるような授業の工夫を行うことで、学ぶ意欲の向上を図る。	平均3.4以上 A	評価	コメント
	児童にとって分かりやすい授業の工夫・改善	3.8	3.0	3.0	3.3	○アンケート全体平均3.2以上 ○研究授業1年2回以上	アンケート全体平均3.2を上回った。放課後の勤務時間で教材研究に充て、ひなたの学びを意識した授業づくりや、主題研究を中心とした研究授業を実施することで、分かりやすい授業の工夫・改善を行う。	平均3.0未満 C	評価	コメント
	家庭学習の充実	3.4	3.0	3.0	3.1	○アンケート全体平均3.2以上	アンケート全体平均3.2を少し下回った。タブレット教材の活用や、学力テスト対応の問題等も意識し、児童の実態や発達段階に応じた課題を精選して取り組ませることで、家庭学習の充実を図る。	平均3.0未満 C	評価	コメント
	個に応じた指導の充実	4.0	3.2	3.0	3.4	○アンケート全体平均3.2以上	アンケート全体平均3.2を上回った。児童が苦手としていたり、補充が必要だったりする内容を把握するため、普段の授業から、練習問題などで学習内容の定着度を見取ることができるようにすることで、個に応じた指導の充実を図る。	平均3.0未満 C	評価	コメント
	読書環境整備、読書指導の充実	2.8	2.1	2.3	2.4	○アンケート全体平均3.2以上 ○学期目標冊数 1・2年…50冊 3・4年…40冊 5・6年…30冊	読書意欲の向上のため、様々な取りを行っているが、前年度に比べなかなか貸出冊数が伸びなかった。次年度も引き続き、親子読書や読書月間、地域の方々による読み聞かせなどを実施し、異なる読書指導への徹底を図る。また、学校図書館司書とも連携を密に取りながら、読書活動、図書室整備を行う。そして、児童の読書への興味・関心を高めるために委員会活動を活用し、児童自らが中心となって読書活動に参加していくようにする。	平均3.0未満 C	評価	コメント
体験活動を通して豊かな心の育成	体験活動の充実	3.8	3.5	3.3	3.5	○アンケート全体平均3.2以上 ○稲作体験等の完全実施	地域の方の協力により、様々な体験活動を行うことができ、児童も意欲的に取り組むことができた。その結果、全体的によい評価を得ることができている。次年度も計画的に活動を行い、通信等を活用して広報にも力をいれていく。	平均3.0未満 C	評価	コメント
	キャリア教育	3.4	/	2.8	3.1	○アンケート全体平均3.3以上	アンケート全体平均3.2を少し下回った。職員にキャリアパスポートを活用する具体的な方法を提示し、共通実践する。また、通信等で本校で行っているキャリア教育について知らせる機会を設定し、各家庭がキャリアパスポートを確認する機会も併せて設定する。	平均3.0未満 C	評価	コメント
	縦割り班における人間関係の醸成、リーダー性の向上	3.8	3.1	3.3	3.4	○アンケート全体平均3.2以上 ○いじめ認知3以下、年度内解決	アンケート全体平均3.2を上回った。行事や清掃の時間などで、おずす班主任を中心とした縦割り班での活動を充実させることで、異年齢の交流と、協力して目標を達成させる経験を促し、人間関係の醸成を図る。また、下学年が「やってもらおう」意識ではなく、主体的に行動するリーダー性の向上を図るため、学級内でも上の学年が「手本となる姿を見せられるようにしたり、他学年とのペア活動を取り入れるなどしたりしていく。	平均3.0未満 C	評価	コメント
	牧水頸動活動を通した、自尊感情、郷土愛の育成	3.6	3.5	3.5	3.5	○アンケート全体平均3.2以上 ○頸動活動完全実施	牧生家清掃や牧水ヶ丘祭りなど予定されている頸動活動を全て実施することができた。牧生家清掃では、班で協力して清掃活動に取り組み、若山牧水先生が見ていた坪谷の景色にも注目しながら活動することができた。登校時の短歌朗詠や、短歌作り等においても若山牧水先生に触れることができた。次年度も継続して頸動活動を実施し、自分たちの地域や学校に誇りをもてるようになる。	平均3.0未満 C	評価	コメント
	元気のよいあいさつのできる児童の育成	3.3	3.3	3.1	3.3	○アンケート全体平均3.2以上	アンケート全体平均3.2を上回った。毎日のあいさつや、授業前後の号令など、あいさつの大きさや明るさを意識して常時指導していく。また、よくできている児童を称賛し、価値づけを行うことで、元気のよいあいさつができる児童の育成を図る。	平均3.0未満 C	評価	コメント
	指名をされたら「はいっ」と返事ができる児童の育成	3.6	3.2	3.0	3.3	アンケート全体平均3.2以上	アンケート全体平均3.2を上回った。よい返事とはどのような返事か、全校で共通理解し、全学年共通した学級掲示を作成することで、よい返事ができる児童の育成を図る。	平均3.0未満 C	評価	コメント
	感謝の気持ちをもち「ありがとう」が言える児童の育成	3.8	3.5	3.1	3.5	○アンケート全体平均3.2以上	アンケート全体平均3.2を上回った。教職員が児童に対して積極的に「ありがとう。」という言葉を使うなど、教職員が児童の模範となるような姿を見せていく。また、行事等の際、保護者の方や地域の方の協力があって活動できることを意識させてることで、感謝の気持ちをもてる児童の育成を図る。	平均3.0未満 C	評価	コメント
	身の回りの整理整頓ができる児童の育成	3.1	2.3	3.0	2.8	○アンケート全体平均3.2以上 ○選1回の整頓の日完全実施	アンケート全体平均3.2を下回った。学級の児童の実態に応じて、整理された机やロッカーの中の写真を掲示するなど、視覚支援を取り入れながら、身の回りの整理整頓ができるようにする。また、学習に必要なないものは持てこない、使わなくなったものはすぐ持ち帰るなど、常時指導も徹底していく。	平均3.0未満 C	評価	コメント
	時間を大切にできる児童の育成	3.1	2.7	2.8	2.9	○アンケート全体平均3.2以上	アンケート全体平均3.2を下回った。1分前着席やチャイム黙算などのきまりを職員と児童が共通理解して指導していく。授業開始と終了を確實に守るようにする。	平均3.0未満 C	評価	コメント



令和5年度 日向市立坪谷小学校 学校関係者評価書 No.2

重点目標	達成目標	4段階評価の平均				評価指標(アンケートの到達目標)	評価指標達成状況及び次年度の改善策等	達成度評価(自己評価)	学校運営協議会委員による評価					
		7分達成=4 納期達成=3 あまり達成できていない=2 ほとんど達成できていない=1							期待以上A 期待どおりB 期待を下回るC 要改善D					
		児童 自己評価	保護者 自己評価	職員 自己評価	全体平均				平均3.4以上 A	平均3.0未満 C	評価	コメント		
健 康 食 育 進 歩 を 基 づ け て の し か 上 向 上	「早寝・早起き・朝ご飯」を実践できる児童の育成	3.2	2.9	2.6	2.9	○アンケート全体平均3.2以上	長期休業明けの1週間、生活チェックを行っている。実施期間中は、意識して生活リズムを整えようとする児童が多くみられた。しかし、睡眠不足や朝食の欠食が一因として考えられる体調不良者が来室することもあり、生活習慣に課題がある児童もいる。引き続き、長期休業前や全校集会、掲示物等での保健指導を行ったり、保健師により活用したりして、保護者に向けた情報発信をしていく。また、メディアコントロールについても定期的に情報発信を行い、規則正しい生活習慣を実践できる児童を育成する。	C	B	B	○メディアコントロールは大きな課題と思う。家庭での指導・ルール作りが必要だが、現実的には難しく各家庭での環境にもよる。 ○早寝早起きについては、子どもにとって、スマホやゲームなどの誘惑が多く、難い問題だと思うが、取組を続けることが大事だと思う。 ○早寝早起き等の生活習慣を身に付けるには、日々の生活の大切だと思う。継続的に指導をして、家庭での教育を向上させる必要があると思う。 ○身体面は元気である。健康面・体力面に問題は感じられない。活躍する場面が多いだけに心の負荷が気にならないところではある。 ○普段すると家庭での食事やその環境も変化しているのだろうか。家庭と一緒に料理を作る機会やお手伝いをして、料理することに興味を持ち、それが「食育」につながっていくのが良いのではないか。段階を踏みながら進められた方が良いのかもしれない。 ○食育の基本は家庭であると思う。補足的な栄養教育、身体の成長に伴う教育などを学校で行うことで、子どもたちに食の大切さを分かってもらえることもあると思う。			
	体力向上プランをもとにした日常運動や体育の時間の工夫・充実	3.8	3.1	2.8	3.3	○アンケート全体平均3.2以上 ○体力向上プランの実践事項完全実施	体育指導における児童及び保護者の達成度が高いことから満足度の高さが伺える。しかし、職員の評価については低い。そこで、教職員・児童・保護者がわかる形で体力の向上の伸びを確認できる掲示物の作成や指導の仕方及び目標とする児童の姿の共有を行い全体評価をより高められるようにする。	B	A	A	●			
	栄養教諭などの活用を通した食育指導の充実	3.5	3.3	3.6	3.5	○アンケート全体平均3.3以上 ○栄養教諭訪問の完全実施	9月、11月、12月に栄養教諭が来校し、各学年毎に食育の授業を実施した。授業の内容や児童の様子を食育により校内掲示物を活用して保護者に発信した。しかし、給食中の栄養教諭の指導を計画することができなかった。次年度は、食育の授業と関連を持たせ、給食時も栄養教諭に入らせていただき、食育指導の充実を図る。	A	B	B	●			
	家庭料理の日の内容の充実	3.7	3.0	3.3	3.3	○アンケート全体平均3.3以上 ○家庭料理の日の完全実施と、通信等での連絡評価	夏休みと冬休みの年2回「家庭料理の日」を実施した。ワークシートには、調理をした際の気つきや感想、保護者への感謝の気持ちが記入されており、充実した取組の様子が見受けられた。今年度も、ワークシートを効果的に活用することができなかった。次年度は、ワークシートを掲示して児童や職員、保護者等が見る機会を設けたり、各クラスで発表の時間を設けてもらうなどして、食育の充実を図る。	B	B	B	●			
学 校 運 営 と 連 携 の 推 進 した	学校と地域との連携の充実				3.4	3.2	3.3	○保護者・職員へのアンケート 全体平均3.7以上 ○運動会などの行事における地域方々への参加呼びかけ	B	B	A	○地域の児童減少により、地域と保護者とのつながりが希薄になっていくのが危惧される。 ○素晴らしい取組だと思う。坪谷の子どもたちのために、頑張って継続して欲しい取組である。 ○特認校制度により、多くの児童が地域外から登校しているなどもあり、つながりが壊れないよう交流の場を更に充実させていただけたらよろしく思う。 ○今でも学校に来る生徒が少ぶれが多くなつたとは言い難い。放課後の見守りを増やす方向にもっていったい。 ○地域との連携は、坪小では不可欠と思うので、現状が継続していくのが良い。 ○地域にとって、学校の存在はとても大きいと思うのだが、自分の子、孫がいないから関係ないという風潮もあるので、双方からの情報発信等で意識づけをしていく必要がある。		
	学校の様子の積極的な情報発信				3.7	3.7	3.7	○保護者・職員へのアンケート 全体平均3.7以上 ○毎月1回以上のホームページの更新 月1回の学校だより	A	A	A	●		
小 中 一 貫 教 育 の 実 現	東郷地区の小中一貫教育の目標(グランドデザイン)の理解				3.3	3.2	3.3	○保護者・職員へのアンケート 全体平均3.0以上	B	B	B	○他校との交流等を積極的に行なうことが大事だと思う。 ○東郷学園との交流をこれからも積極的に行なってほしい。 ○小学校が別々の場所での小中一貫であり、それぞれに地域性も違っているので、指導も難しいところもあると思うが、それなりに成果は出ているように思う。		
	小中一貫した共通実践の充実				3.2	2.9	3.0	○保護者・職員へのアンケート 全体平均3.0以上 ○幼保小中関連研修への完全参加	B	B	B	○久しぶりに東郷学園の行事に参戻った。坪谷小学校の子どもたちは、特に多くの同じ年代の子どもたちと交流するのには必要不可欠なので、大いに機会を捉えて連携してほしい。 ○グランドデザインは、東郷学園との連携で構築されていると思うが、「坪小らしさ」「坪小ならでは」も大いに盛り込んでもらえると良い。		
	小中一貫した児童生徒の育成				3.2	2.9	3.0	○保護者・職員へのアンケート 全体平均3.0以上	B	B	B	●		

評価委員意見総括

○無理な宿題は出でない。個人差はあるが、さっさと片付けられれば自由な時間がたくさん確保できると、なんども不可解な思いだった。バス組子ども教室も1年経過した。バス待ち時間の使い方を少し変えたい。ゲームだけではもったいない。校長先生、教頭先生、管理職2名が一度に交代で、この一年手探りの部分も多かったかと思う。新たな視点、気付きを多く加わったと思う。次年度への期待大である。
○今年度の坪谷小学校はとても安定しているように思う。